

ねん がつ にち
2025年2月23日

ねんかんだい しゅじつ
年間第7主日

きくち いさお すう きぎょう
菊地 功 枢機卿 メッセージ

きぼう じゅんれいしゃ せいねん あゆ ふくいん がた ちち あわ
希望の巡礼者として聖年を歩んでいるわたしたちに、ルカ福音は、「あなた方の父が憐れみ深いように、あなた方も憐れみ深い者となりなさい」と呼びかけています。

きょうこうさま だいちよくしよ きぼう あざむ きぼう しょうらい み つた
教皇様は大勅書「希望は欺かない」に、「希望をもって将来を見ること、それは、伝える熱意にあふれた人生観をもつことでもあります(9)」と記し、その上で、「聖年の間にわたしたちは、苦しい境遇のもとで生きる大勢の兄弟姉妹にとっての、確かな希望のしるしとなるよう求められます(10)」と呼びかけておられます。わたしたちは、豊かに愛してくださる神の愛とあわれみを具体的に生きる者となるように招かれています。

ぐたいてき こんなん じれい あ きょうこうさま なか なんみん いじゅうしゃ
いくつかの具体的な困難の事例を挙げられる教皇様は、その中に、「難民や移住者」の現状をあげ、そういった方々にとっての「希望のしるし」となるようにと、教会に呼びかけます。

へんけん はいせき かれ きたい ひとり
「偏見や排斥によって、彼らの期待がくじかれることがありませんように。一人ひとりをその尊厳ゆえに喜んで迎えることには、だれもが望ましい未来を築く権利を奪われなないようにする、責任が伴います。国際的な緊張状態によって、戦争、暴力、差別を避けるには逃げるしかない多くの亡命者、強制移住者、難民には、安全、就労、教育の機会を保障すべきです。それらは、新しい社会環境に溶け込むために必要な手立てなのです(13)」

うえ きょうこうさま もの きょうどうたい よわ たちば ひとひと けんり
その上で教皇様は、「キリスト者の共同体にはつねに、もっとも弱い立場の人々の権利を守る用意がなければなりません。よりよい生活への希望をだれ一人奪われることのないよう、広い心で歓待の扉を開け放ってください」と、わたしたちに呼びかけておられます。

ふくいん ひと い しせい よ じょうしき ま こう こと せんたくし かか
ルカ福音は、人の生きる姿勢について、この世の常識とは真っ向から異なる選択肢を掲

げた^{あと}後に、「人^{ひと}にしてもらいたい^{おも}と思う^{おも}ことを、人^{ひと}にもしなさい^{しる}」と記^{しる}します。

わたしたち自身^{じしん}は、自分^{じぶん}が何^{なに}をしてほしい^しのかを、どうして知^しっているのでしょうか。わたしたちは自分^{じぶん}自身^{じしん}を大切^{たいせつ}に思^{おも}い、自^{みづか}らの身^{しん}体^{たい}と心^{こころ}の聲^{こゑ}に真摯^{しんし}に耳^{みみ}を傾^{かたむ}けるからこそ、自分^{じぶん}自身^{じしん}にとって何^{なに}が必要^{ひつよう}なのかを識別^{しきべつ}することができています。

「人^{ひと}にしてもらいたい^{おも}と思う^{おも}ことを、人^{ひと}にもしなさい^{しる}」という言^{こと}葉^ばは、わたしたちに隣人^{りんじん}への思^{おも}いやりの心^{こころ}を求^{もと}めます。隣人^{りんじん}の聲^{こゑ}に耳^{みみ}を傾^{かたむ}ける姿^し勢^{せい}を求^{もと}めます。隣人^{りんじん}のい^いのちの尊^{そんげん}厳^{そんちよう}を尊^{まも}重^{とも}し、そのい^いのちを守^もり、共^{とも}に生^いきていくことを求^{もと}めています。

さらに福^{ふくいん}音^{いん}は「人^{ひと}を裁^{さば}くな」と言^いわれたイエスの言^{こと}葉^ばを記^{しる}します。わたしたちはそもそも簡単^{かんたん}に他^た者^{しや}を裁^{さば}く存在^{そんざい}です。あたかも自分^{じぶん}により正^{せい}義^ぎがあると思^{おも}い込^こみ、様^{さま}々^{ざま}な手^{しゅ}段^{だん}を通^{つう}じて幾^{いく}たび人^{ひと}を裁^{さば}いてきたことでしょう。正^{せい}義^ぎはどこにあるのでしょうか。い^いのちに対する暴^{ぼう}力^{りよく}がはびこるこの現^{げん}実^{じつ}の中^{なか}で、わたしたちは不^ふ安^{あん}のあま^{かん}り寛^{かん}容^{よう}さを失^うしな、安^{あん}易^いに他^た者^{しや}を裁^{さば}いては安^{あん}心^{しん}を得^えようとしています。そのようなわたしたちに対して、ルカ福音^{ふくいん}は主^{しゅ}イエスの言^{こと}葉^ばとして、「あ^じな^{ぶん}が^はた^は自^じ分^{ぶん}の計^{はか}る量^{はか}り^{はか}で計^{はか}り返^{かえ}される」と伝^{つた}えます。この言^{こと}葉^ばこそは、わたしたちひとり一人^{ひとり}の心^{こころ}に深^{ふか}く記^{しる}しておきたい言^{こと}葉^ばです。